

保護者向け
説明文書

グローバルな子どもの権利対話 (GCRD)

親御さんなど保護者の皆さまへ

私たちは、佛教大学社会福祉学部の研究者と共同して活動しています。皆さまにお願いしたいことがあります。あなたの子どもがこの話し合いへ参加したいかどうかを確認していただきたいことです。その判断をする前に、この話し合いが開催されている理由やあなたと子どもが何をするのかを知っていただきたいのです。もし、あなたの子どもが参加することに同意いただける場合には、同封した承諾書にサインをしてください。

なぜ、私たちはこの研究を行っているのでしょうか？

この話し合いは「コロナ禍における子どもの権利対話」というプロジェクトを進める研究チームから委託されています。このプロジェクトは、国連の子どもの権利委員会の主催による子どもの権利を監視するための文書を作成するために計画されたプロジェクトです。その目的は、子どもたちに関わる政策や計画上の弱点や隔たりを政府が認識できる指標の枠組みを開発することです。この目的を実現するために、私たちは子どもたちと一緒に話し合いを重ねていきます。

子どもは誰と一緒に作業をするのでしょうか？

チームには経験豊かな進行役（ファシリテーター）がいて、子どもたちと一緒に作業をします。子どもの人権に関して子どもたちの生活の中でどんなことが起きているのかを調べるために、このチームは子どもたちと一緒に話し合いをします。子どもたちはこの問題に関して意見を表明する権利をもっていることをチームは自覚しています。そして、チームは子どもたちの話に耳を傾けます。

この研究では子どもは何をするのでしょうか？

この話し合いの一環として、子どもたちはこの問題を調査するための一連の活動に参加することが求められます。私たちは、1回に1-2時間かかるこうした取り組みを複数回異なる場所で開催します。話し合いでは、子どもたちの考えを通じて、子どもの権利条約で記載されているような子どもの権利を理解することを重視します。すべての話し合いは、楽しく飽きないように工夫されており、自主的なグループ活動として行われます。

話し合いのグループは、10-17歳の子どもたちで構成されます。グループの一員として、あなたの子どもは、他の子どもたちとチームとチームをつくって子どもたちの仲間と一緒に話題についての議論に参加することになります。ワークショップは学校の活動に差し障りがないように週末に、みなさんの身近な場所で開催されます。当日はお菓子や飲み物をご用意します。チームがグループ討論に集中できるように、私たちは話し合いを録音します。グループ討論が終了した後、話し合われた内容を記録するために録音した資料をしばらく保管します。ワークショップの報告書が完成した時には、録音された資料はすべて廃棄します。話し合いで作成された図表（話し

合いの流れ図など)は、報告書に引用されたり、将来の子どもの権利を生かす活動に利用されたりすることがあります。私たちは子どもたちと一緒に作業する経験をたくさん積んでいます。そのため、すべての話し合いがしっかり構成され、思いやりをもって、ストレスのかからない方法で行われることを、私たちは皆さんにお約束します。

参加の同意をあとから撤回できますか？

研究への参加は任意的なものです。あなたの子どもさんがこれ以上参加したくないと思ったら、同意を撤回することはいつでも可能です。その際には理由を述べる必要もなく、また子どもさんが不利益を被ることはありません。ですので、どのような不利益も被らなくて、自由な意思で話し合いのどんな時にもいつでも退室できることを、お子さんにお伝えください。

私たちの個人情報を守られますか？

経過中に得られた情報はすべて厳格に守られます。私たちは、子どもの発言が誰のものかが決して特定されないようにします。その代わりに、グループが話し合った内容の概要について文章にするつもりです。ただし、子どもの保護に関わる事項についての情報が明らかになった際には、私たちはその情報を適切な機関に提供する場合があるので、ご了承ください。私たちは常に情報保護ガイドラインを守ります。計画に関するすべての情報は安全に保存され、電子情報はパスワードで保護されたコンピュータで保管されます。電子情報でないデータは常時施錠された事務所で管理されます。これらの情報は5年後には廃棄されます。話し合いの様子を伝える際には子どもたちの名前は決して公表しません。また、子どもたちの発言内容は個人として特定されることはありません。

ワークショップで集められた情報は、日本語あるいは英語に翻訳されたのちオンライン・ストレージサービス「グーグルドライブ」を用いて共同研究者たちで共有します。これらの情報は要約され、個人が特定されない状態で共有されます。「グーグルドライブ」は日本で情報を保管しています。すべての情報は完全に暗号化され、あなたのワークショップのファシリテーターと研究者以外は誰も閲覧することはできません。

この結果はどうなるのでしょうか？

研究が終了すると情報はまとめられ、子どもたちの代表が参加するシンポジウムを日本で開催し、その成果も含めた研究成果が、子どもでも理解できる報告書にまとめられます。この報告書は、国内外の研究参加施設によって現地の言葉に翻訳され子どもたちと共有できることを目指します。報告書はウェブサイトにも掲載するようにします。さらに、公的な文書や学術論文としても報告書は発表されます。私たちは学会や検討会でもこの成果を発表します。

この研究について詳しく知りたい場合にはどうすればいいですか？

もし、この研究について詳しく知りたい場合(参加しない場合でも)には、どうか私たちにお尋ねください。

代表者 / 研究担当者名: 武内 一 (佛教大学社会福祉学部教員/小児科医)

電話番号: 075-366-5595

E-mail: htake@bukkyo-u.ac.jp

ご協力いただきありがとうございます。

グローバル・子どもの権利の話し合い

保護者向け

あなたのお子さんが話し合いのグループに参加するに際しての同意書

- 私の子どもがこの計画に参加する意義についての説明文書を読みました。
- 私の子どもに関するデータや個人情報、責任者のみが扱い、暗証番号で保護されたコンピュータで保管され、研究終了5年後には廃棄されることを理解しました。
- 私の子どもが仲間とともにワークショップとそこでの話し合いの小グループに参加することを依頼されており、子どもたちが意見を表明する際に援助を求めた場合には子どもに付き添いできることを理解しました。
- グループで子どもたちが話した内容はすべて匿名化され、厳格に秘密は守られること（子どもの保護に関わる場合には情報を提供します）を私は理解しました。チームは、子どもの発言が誰のものかを特定されないようにしますが、グループの状況に関しては公表します。私たちは**参加者**たちに守秘義務の重要性を伝えますが、守秘義務を守らない可能性はあります。
- ワークショップで収集された要約された情報は匿名化され、安全な情報管理の方法でグローバル・ヘルスという機関および子どもの権利センターの研究者たちと共有されることを理解しました。
- 進行役（ファシリテーター）が記録を作成するために、ワークショップやそこでの話し合いの小グループの様子が録音されることを理解しました。ただし、参加者の誰かが討論を録音されることを希望されない場合には、進行役はその意思を尊重します。
- 発言内容や見解から私の子どもの名前が特定されることはないこと、ワークショップやそこでの話し合いの小グループで収集された情報は保管され、グループの見解として報告されることを理解しました。
- 私の子どもはいつでも理由を問わずにワークショップやそこでの話し合いの小グループへの参加を中断して退室できることを理解しました。さらに、いつでも理由を問わずに承諾の意思を取り消すことも理解しました。
- この話し合いが報告書の形式で発行されたり、学術論文に掲載されたりする可能性があることや検討委員会などで報告されることを理解しました。

あなたが同意できる内容にチェックをつけてください。

私の子どもが、進行役がいて子ども同士が話し合う取り組みに参加することに同意します

話し合いのグループが資料作成を容易にするために録音されることに同意します

私の子どもが話し合いのグループで作成した資料のすべてを、チームが報告書や学会、検討会などで研究内容を公表するため利用することに私は同意します

話し合いのグループが録音されることに同意しません

私の子どもが関わった内容をチームで利用することに同意しません

署名: _____

日付: _____